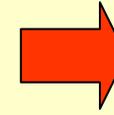


わたしたちにもできる防災ってなあに！



市川市立行徳小学校 6年

**自分の命は、自分で守ることが
できる子ども**



**地域の方の
防災意識
の向上**

- ① 子ども一人ひとりが、防災に興味や関心を持ち、自己の防災意識を高める。
- ② 地域や家庭、学校とが連携し、地域の防災意識の向上を図る。



家庭

- 我が家の防災計画
- 災害持ち出し袋
- 防災マップの活用
- 引き渡し訓練
- 地域の掲示板
- 地域の回覧板
- 防災ワークショップ参加

学校

- ▶避難訓練
- ▶引き渡し訓練
- ▶防災マップづくり
- ▶防災ポスター
- ▶防災新聞
- ▶防災センターでの体験学習
- ▶防災ワークショップ開催
- ▶我が家の防災計画
- ▶大地震の体験談

地域

行徳っ子守り隊

- ・防災マップづくり
- ・防災ワークショップ参加

千葉大学都市計画研究室

- ・災害時に役に立つもの
- ・防災マップ

新潟県長岡市の高木様

大地震を体験した話

①学校内での防災訓練

- ・学習中や休み時間中の避難訓練の実施
- ・警戒宣言を想定して、保護者への児童引き渡し訓練の実施と保護者と一緒に通学路の安全確認をする。

②自分の防災マップ作成

- ・「行徳っ子守り隊」のみなさんの力を借り学区調査をする。
- ・危険箇所を記した防災マップの作成
- ・千葉大学院生と完成したマップの再確認をする。また、災害が起きた場合の対処について指導を受ける。

③ 自己の防災力を高める

- ・千葉県西部防災センターに体験学習に行く
- ・校内で市川消防署による消火訓練・地震体験
煙中脱出訓練に参加する。
- ・新潟地震の被災者の体験談を聞く。

④ 我が家の防災計画

⑤ 学区への働きかけ

- ・防災新聞の発行
- ・防災ポスターの掲示
- ・行徳防災ワークショップ開催

行徳っ子守り隊の皆さんと！

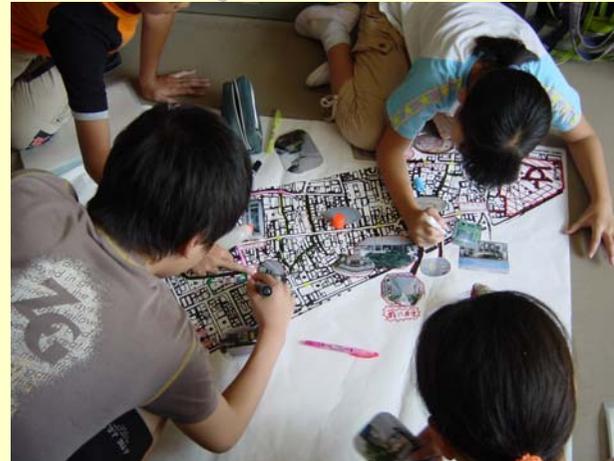


狭いし、両側にブロック塀があるよ



自治会で消火器を設置しているんだよ

防災マップづくり



写真を入れるとわかりやすい

プロジェクト紹介

第一回行徳小防災まちづくり講座開催！！

ー12月15日(木)ー「行徳のトクするまちのスグレモノを探そう！」

行徳小学校の6年生を対象に防災まちづくり講座を行いました。

記念すべき第1回目は、特別講師にマヌ都市建築研究所の神谷先生をお招きして、行徳地区のなかでいざ地震のあったときの対処法を地域資源に注目してあれこれとアイデアを出してみようという試みでした。そこに、21グループの総勢約140名の子どもたちが参加し、知恵を出し合いました。

神谷先生に地震があったときに心配なこと7項目[(1)すまい(2)飲み水(3)トイレ(4)調理(5)電気(6)通信(7)協力]をレクチャーしていただき、その後、子どもたちはグループごとにそのなかの1項目を考えました(考える項目はワールドカップの雰囲気のにせられ抽選で決定)(写真上段)

作業は、子どもたちがこれまでに学習してつくりあげた行徳地区の防災マップを横目に模造紙を広げわいわい相談しながら行いました。20分という短い時間のなか、千葉大生も必死に動き回って子どもたちのサポートをしました。(写真中段)

最後にグループごとに発表をし、その成果について神谷先生に講評をいただきました。(写真下段)

千葉大学工学部大学院生から学びました

千葉大都市研究室のHPより

千葉大学都市研究室のみなさんと学んだ



マヌ都市建築研究所の神谷秀美先生

我が家の防災計画を立てよう

大地震がおきたら
不安、心配



大地震を体験した人の話を聞きたい

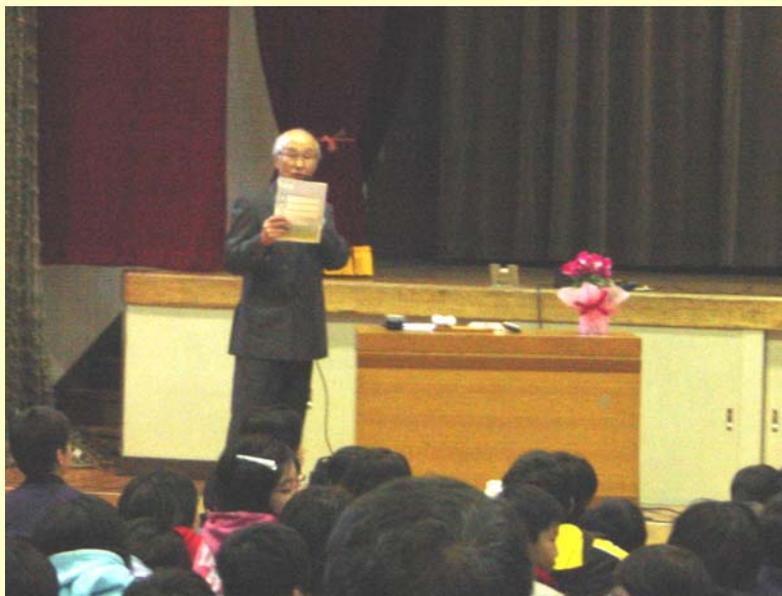
図書・パソコンで調べてみよう

非常持ち出し袋の用意
家具の固定
家族の連絡先

家に一人でいた場合
避難場所までの経路
など

大地震を体験した人の話を聞きたい

新潟中越地震を体験した 高木仁様からお話を聞きました。



我が家の防災計画

- 防災マップ
- 防災マニュアル
- 避難の約束ごと
- 非常持ち出し袋

() 家の防災マニュアル

住所	
電話	

○ 避難場所

	名	前電	話
第1避難場所			
第2避難場所			

○ 家族の待ち合わせ場所

	名	前電	話
第1候補			
第2候補			

○ 家族のデータ

名	前	姓	学校・勤務先	電話番号	避難の方法

○ 親戚の連絡先

名	前	電	話	番	号	そ	の	他

○ 緊急の電話

救急車	火事	警察
-----	----	----

地域とともに

ワークショップ開催



防災新聞の発行

地震対策

パッチリ新聞

10月25日 何が起こる？
に、千原大 下家千和の調査
堂工学部、 大学の転倒、火
大気衛生部、 事の発生
マナ都小建 たらに、心配なの
薬研究所の け...
方々から 延焼火など。
しんじゆん たいまつ...は
い、被害を 被害後の生活で
してもらい ます。これは、何
ました。 月も何年も続くと
はじめに うです。
マナ都小建 まちには、い
築研究所の るけどうり
神谷先生が 用しよう？
いろいろと ↓基礎、使わない
お話しこく ます。お話し
た。 ↓使えないの
み注意。
またら、 災害時だけは

まちには、どんな資源がある？

※安全な広場・空地
地（只野から
離れ）
↓内く大勢が利
用できる。
周りに公園があ
るけどどう利
用しよう？
↓基礎、使わない
ます。お話し
た。 ↓使えないの
み注意。
またら、 災害時だけは

非常持ち出し品

※食料品、飲料水
※現金
※貴重品
※薬
※工具
※懐電
※ラジオ
※地図
※手帳
※筆記用具
※現金
※貴重品
※薬
※工具
※懐電
※ラジオ
※地図
※手帳
※筆記用具

感想

大きな地震とか
何かに、みんな
パッチリ新聞にな
ってしまえば、
みんな準備とか
ちゃんと思えば、
大丈夫と思える。
やっぱり地震に備え
ておきたいです。
お話し
た。 ↓使えないの
み注意。
またら、 災害時だけは

防災新聞

行徳のトクするまちのステレオ

責任者
①の図
②の図
③の図
④の図

感想

自然災害は
とてもおそ
ろしい。こ
うです。ひ
どくは、こ
ろから私
たちは、
このまちを
守るために
準備をす
るべきです。
お話し
た。 ↓使えないの
み注意。
またら、 災害時だけは

成 果

- 子ども達の声の中に、「防災学習をする前と比べ、災害に対する恐怖心が減少した。」という感想が多かった。少しずつではあるが学習の成果を感じている。
- 行徳っ子守り隊のみなさんを始め、多くの地域住民の支援を得て、学習できたことは有り難かった。
- 防災マップを作成したことで、当該学年だけでなく、全校児童の役立つマップとなった。

- 我が家の防災計画を立てたことで、家族の輪が広がり、家族全員で共通理解できたことも収穫である、何より子ども達は、いざというときの行動や対応策が明記されていることで安心感を持つことができた。備えがあることは、防災に強い自分を作ることであることを感じたようだ。
- 多くの人々と接して学習を進めたことで、子どもの社会性を向上させることができた。